

息合わせ迫力の音色

芦別 吹奏楽団体が合同演奏会

【芦別】市内の吹奏楽団体による合同演奏会が2日、市民会館で開かれ、迫力ある音色で聴衆約250人を魅了した。

芦別の吹奏楽関係者でつくる「星の降る里ウィンズバンドプロジェクト」の主催で毎年実施。演奏会に先立ち1月25、26日、2月1日に、札幌

のサクソフォン奏者・西村彰紘さん(38)ら4人を講師として招き、芦別市民吹奏楽団と芦別高吹奏楽局、芦別中吹奏楽部から参加した計43人が演奏の表現法などを学んだ。3日間の仕上げとして演奏会を行った。

第1部では、芦別高吹

奏楽局と芦別市民吹奏楽団と講師陣が、市民吹奏楽団の関大樹さんの指揮で「ボージャー」など3曲を披露。第2部では、西村さんの指揮で、芦別中生5人を加えた全46人が「アメイジング・グレイス」など4曲を奏でた。さらにアンコールの声に応え「76本のトロンボーン」など2曲をメリハリの利いた演奏で聞かせ、会場からは大きな拍手が起きていた。(矢戸透)



迫力ある音色で約250人の聴衆を楽しませた吹奏楽合同演奏会